

# 貸借対照表

株式会社三越友の会

平成22年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 53,718,490】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 56,033,466】</b>
現金及び預金	86,154	リース債務	7,581
貯蔵品	51,526	未払費用	92,433
短期貸付金	51,888,087	未払消費税	3,542
未収入金	4,057	お買物券	31,508,041
未収還付法人税等	99,221	預り金	19,901,045
前払費用	3,027	商品券回収損引当金	4,518,059
その他流動資産	139	その他流動負債	2,761
繰延税金資産	1,897,276	<b>【固定負債】</b>	<b>【 50,922】</b>
貸倒引当金	△311,000	リース債務	29,641
<b>【固定資産】</b>	<b>【 3,122,759】</b>	長期未払金	21,280
(有形固定資産)	35,716	負 債 合 計	56,084,388
リース資産	35,716	純資産の部	
(無形固定資産)	7,510	<b>【株主資本】</b>	<b>【 756,861】</b>
電話加入権	291	資本金	100,000
ソフトウェア	7,219	利益剰余金	656,861
(投資その他の資産)	3,079,532	利益準備金	25,000
投資有価証券	22,800	その他利益剰余金	631,861
長期前払費用	2,423,631	繰越利益剰余金	631,861
差入保証金	615,666		
ゴルフ会員権	8,000	純資産合計	756,861
繰延税金資産	9,434		
<b>資 産 合 計</b>	<b>56,841,250</b>	負債及び純資産合計	56,841,250

# 損 益 計 算 書

株式会社三越友の会

自 平成 2 1 年 4 月 1 日  
至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

科 目	金 額	
		千円
I. 売 上 高		
お買物券斡旋手数料	2,186,189	
催物及び手数料収入	92,143	
広告掲載料	65,954	2,344,287
売上総利益		2,344,287
II. 販売費及び一般管理費		4,548,301
営 業 損 失		2,204,013
III. 営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	2,308,703	
未回収お買物券	1,873,740	
雑 収 入	5,546	4,187,990
IV. 営 業 外 費 用		
商品券回収損引当金繰入額	1,706,888	
雑 損 失	4,539	1,711,427
経 常 利 益		272,549
VI. 特別損失		
システム変更関連損失	15,239	
合併関連費用	4,133	19,373
税引前当期純利益		253,175
法人税、住民税及び事業税	334,530	
法人税等調整額	△227,407	107,122
当期純利益		146,053

## 株主資本等変動計算書

株式会社三越友の会

自 平成21年 4月 1日  
至 平成22年 3月 31日

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	利益剰余金		株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金	
			繰越利益剰余金	
前期末残高	100,000	25,000	485,807	610,807
当期変動額				
当期純利益			146,053	146,053
当期変動額合計			146,053	146,053
当期末残高	100,000	25,000	631,861	756,861

## 個 別 注 記 表

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法  
時価のないその他有価証券は総平均法による原価法により評価しております。
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品については先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）により評価しております。
3. 固定資産の減価償却の方法  
無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。  
リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
4. 引当金の計上基準
  - (1) 貸倒引当金は債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し回収不能見込額を計上しております。
  - (2) 商品券回収損引当金は、商品券等が負債計上中止後に回収された場合に発生する損失に備えるため、過去の実績に基づく将来の回収見込額を計上しております。
5. リース取引の会計処理の方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。
6. 消費税等の会計処理の方法  
税抜方式によっております。

### II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 687千円
2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

### III. 損益計算書に関する注記

1. システム変更関連損失

ICカード廃棄処理代	6,782千円
満期状況はがき発送プログラム開発	2,600千円
IC顧客データ閲覧プログラム開発	1,900千円
口座振替・自振用紙	1,460千円
サーマルプリンタ機器	1,200千円
その他口座振替ペラ等	1,297千円
計	15,239千円

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

#### IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数ならびに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位：株)

		前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
発行済株式	普通株式	200,000	—	—	200,000
	合計	200,000	—	—	200,000

#### V. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

1. 流動資産の部

主として商品券回収損引当金等 1,897,276千円

2. 固定資産の部

主として閉鎖店舗関連損失等 9,434千円

#### VI. リースにより使用する固定資産に関する注記

リース契約により使用する固定資産の明細

資産の種類	資産の内容及び数量等
器具備品	電子計算機とその周辺機器一式
ソフトウェア	ICカードシステム一式

#### VII. 金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

当社では、余剰資金に関する資金運用については、グループ内企業に開設した専用の口座に集約し、集中的な資金管理をしております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 短期貸付金	51,888,087	51,888,087	—
(2) 預り金	(19,901,045)	(19,901,045)	—

(\*) 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 短期貸付金、並びに(2)預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## Ⅷ. 関連当事者との取引に関する注記

### 兄弟会社等

属性	会社等の名称	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
					役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の子会社	㈱三越	37,404	百貨店	なし	出向 10人	友の会 事業の 受託	資金の貸付 (注1)	355,131	短期貸付金	51,888,087
							売上斡旋等 (注2)	2,240,918	—	—
							貸付利息 (注3)	2,307,439	—	—
							出向者給与等(注4)	603,046	未払費用	13,614

### 取引条件及び取引条件の決定方針等

注1. 資金の貸付の取引金額は、前期末からの純増減額を表示しております。

注2. 当社の受託事業の運営コスト、親会社売上高への貢献度等を勘案し交渉の上決定しております。

注3. 貸付利息については市中金利等を勘案し、交渉の上決定しております。

注4. 出向元給与等及び兼任比率を勘案し決定しております。

## Ⅸ. 1株当たり情報に関する注記

- 1株当たり純資産額 3,784円30銭
- 1株当たり当期純利益 730円26銭

## Ⅹ. 重要な後発事象に関する注記

(会社合併)

当社は、平成21年12月22日の取締役会の決議に基づき、株式会社イセタンクローバーサークルの経営管理及び営業支援業務を承継する吸収合併を平成22年4月1日に実施しました。

### 1. 会社合併の目的

三越伊勢丹グループでは、事業・機能の選択と集中により、経営資源をグループ全体で再配分・最大限活用することで、お客様満足の向上、生産性の向上を図るべくグループ体制を構築することを目指しております。

その一環として、両友の会の機能統合により、業務品質の向上とコスト削減を図ってまいります。

### 2. 会社合併の要旨

(1) 吸収合併の効力発生日

平成22年4月1日

(2) 合併方式

当社を存続会社とし、株式会社イセタンクローバーサークルを消滅会社とする吸収合併です。尚、株式会社エムアイカードの完全子会社同士の合併であるため、合併比率の取り決めは無く、合併による新株発行及び資本金の増加もありません。

### 3. 合併会社の社名

株式会社エムアイ友の会

#### 4. 吸収合併する会社の概要

##### (1) 会社の事業内容

前払式特定取引による商品売買の取次事業

##### (2) 会社の規模

売上高	1, 585, 084千円
当期純利益	137, 985千円
資産合計	22, 509, 418千円
負債合計	21, 616, 540千円
純資産合計	892, 877千円
従業員数	6名